

**三菱UFJニコス、小田急グループのショッピングビル「Flags(フラッグス)」に
訪日外国人向け“外貨建てカード決済サービス”を導入！
～訪日外国人から人気の観光スポットで、6月9日取り扱いスタート～**

三菱UFJニコスはこの度、小田急グループの株式会社フラッグス(東京・新宿、金子一郎社長)運営のショッピングビル「Flags(以下「フラッグス」)」に、訪日外国人対象の外貨建てによるカード決済サービス「DCC(ダイナミック・カレンシー・コンバージョン)決済サービス」導入を決め、6月9日から同ビル各テナントでその取り扱いをスタートします。

「フラッグス」は1998年10月にオープンした、新宿駅に隣接した商業施設で、ファッション、音楽、スポーツなど、多業種のテナントが出店しており、巨大ビジョン(Flagsビジョン)は今や、近隣でのシンボリック存在になっているものです。

「DCC決済サービス」は、日本国内において海外発行カード(VisaとMasterCard®)による自国通貨(米ドル、韓国ウォン、豪ドル、台湾ドル、ユーロなど10通貨)建てでの決済を可能とする仕組みであり、当社は同サービスで豊富な経験を有するFEXCO Merchant Services社と組み、昨年10月1日から提供を開始しています。

具体的に同サービスは、当社運用のクラウド型マルチ決済システム「J-Mups(ジェイマップス)」導入加盟店で利用可能。これにより、訪日外国人は、従来の円建て決済に加え、自国通貨建ての決済が選択可能となり、為替変動の心配なく、利用時点の為替レートで支払金額を確定できるようになるものです。

なお、フラッグス社は既に「J-Mups」を採用し、クレジットカードをはじめ、銀聯カード、J-Debit(ジェイデビット)、Suica(スイカ)・PASMO(パスモ)を含む交通系電子マネー、iD(アイディ)など、来店客の多彩な決済ニーズに対応しています。同社は今般、著しく増加している訪日外国人の一層の利便性向上を目的に、新たに「DCC決済サービス」導入を決めたものです。

当社は今後も、訪日外国人向け決済サービスの環境整備に注力していきます。

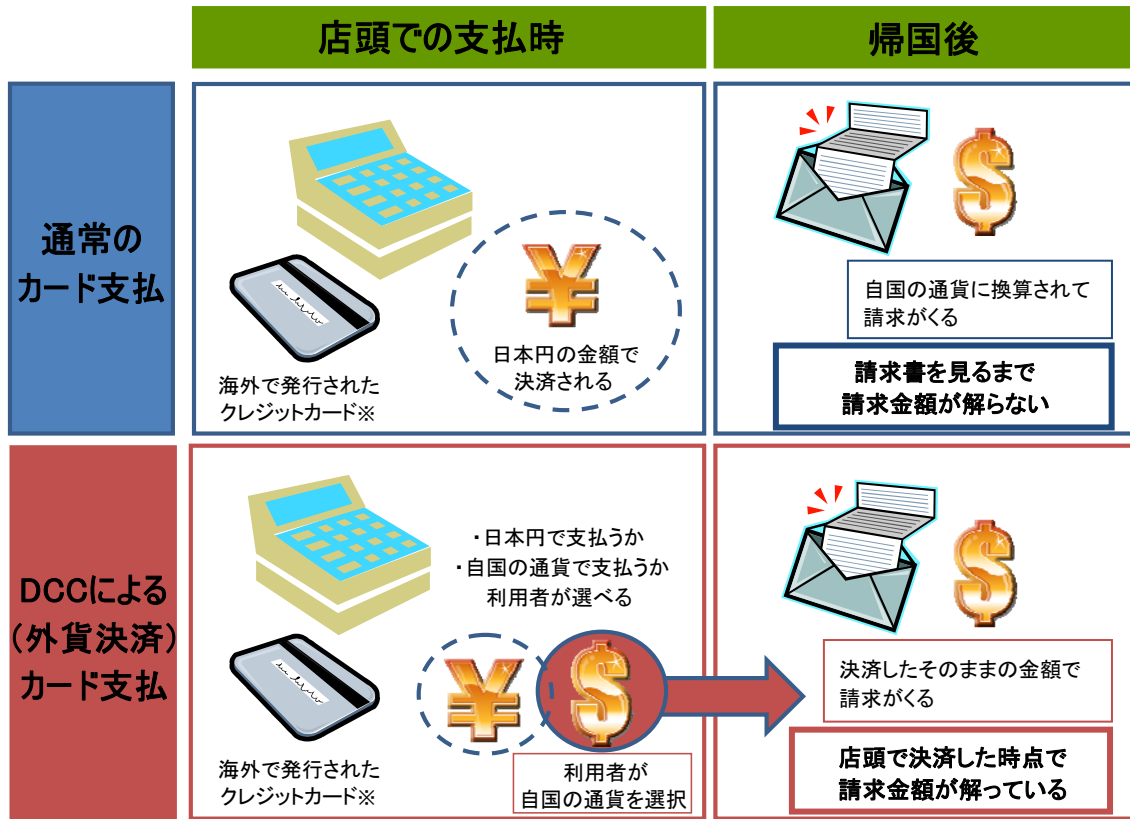
<サービス概要>

1. 対象取引: 海外発行のVisa、MasterCard®カード会員によるカード決済
2. 対応通貨: 10通貨(米ドル、韓国ウォン、豪ドル、台湾ドル、ユーロ、香港ドル、シンガポールドル、英ポンド、タイバーツ、カナダドル)

<参考資料>

■ご利用イメージ

DCC決済サービスの利用イメージ



※請求通貨がUSドルのクレジットカードの例

■店頭取引/端末画面イメージ

①対象カード判定



②説明内容表示



③確認画面



以上